

# イエス・キリストは土台です

ホープ・チャペル所沢

第一コリント人への手紙 3:1-11

「与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません。というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。」

(第一コリント人3:10-11、新改訳)

## 序文

皆さんは、キリストが「礎の石」であると云われているのを耳にしたことがありますか。聖書の中で「礎の石」という言葉を検索すると、キリストに関係する聖句を10箇所見つけることが出来、その中の3箇所ではイエスご自身が自分を指して「礎の石」と言われています。私たちは神の宮であるという事実を心に留め、また、ソロモン王に最初の神の宮を建設するように命じられた神様の細部にまで亘る入念な指示を考えるならば、私たちが神様の土台の上にどのような人生を築いていくか、神様が関心を持っておられるということが理解できるのではないのでしょうか。そして、その土台とはキリストなのです。

1. 私たちは「聖霊の人々」として召されています。 (第一コリント人 3:1-4)

ア) 私たちは皆「キリストにある幼子」から「聖霊の人々」になるよう召されています。

イ) 私たちは、人の弟子ではなく、キリストの弟子として召されています。

2. 祝福と成長を与えて下さるのは神様です。 (第一コリント人3:5-9)

ア) パウロやアポロがただの神の僕しもべであったように、キリストにある皆さんの指導者たちも、ただの人間です。

イ) 「私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。」(9節)

3. 神様の恵みと召しの上に、あなたの人生を築きましょう。 (第一コリント人3:10-11)

ア) 能力や努力ではなく、神様のパウロに対する恵みこそが、パウロを使徒にさせました。

イ) キリスト以外に人生の土台はありません。ですから私たちは、注意深く生活すべきです。

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために：

1) 上記1-4節で、「乳」と「堅い食物」という言葉を使って、パウロは何を云おうとしているのでしょうか。

2) 「聖霊の人々」として召されたとは、どういう意味ですか。

3) 上記10-11節を読みましょう。キリストは唯一の土台であると語ったパウロの真意は何ですか。

## 結論

私たちの人生も、そして住まいも、最も重要な部分はその土台なのです！

041308hctj